

第3次豊田市教育行政計画最終評価報告書

1 計画全体の進捗状況

重点事業と基本事業を合わせた全 70 事業の進捗状況は、「A:予定通り」の事業が約 72%、「D:完了」の事業が約 11%となっており、全体の約 83%の事業は概ね予定どおり推進できました。

分野ごとにみると、学び・育ち分野は約 78%、スポーツ分野は 75%、歴史・文化分野は約 95%の事業が順調に進んでいます。

一方で、新型コロナウイルス感染症の影響のため、「C:遅れ」、「E:その他(延期・中止等)」となった事業もあり、今後は事業手法の見直し等を検討する必要があります。「C:遅れ」は、「家庭教育支援事業」で、「E:その他(延期・中止)」は、「小児生活習慣病予防事業」と「郷土芸能継承事業」です。

重点:重点事業の数

	事業数	A予定通り	Bやや遅れ	C遅れ	D完了	Eその他	A+D
学び・育ち	40	28 (重点 6)	7 (重点 4)	1 (重点 1)	3	1	31 (78%)
スポーツ	8	4 (重点 2)	2	0	2	0	6 (75%)
歴史・文化	22	18 (重点 2)	0	0	3	1	21 (95%)
全 体	70	50 (72%)	9 (13%)	1 (1%)	8 (11%)	2 (3%)	58 (83%)

※進捗状況の区分: A:予定通り(90%以上)、B:やや遅れ(50%以上 90%未満)、C:遅れ(50%未満)、D:完了、E:その他(延期・廃止等)

2 重点施策における状態指標の状況

重点施策の状況指標の中で、めざす方向に進展した項目は、重点施策1「学校生活に満足している児童生徒、保護者の割合(小学生)(中学生)」、重点施策2「ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある児童生徒の割合(小学生)」、重点施策3「自分の住む地域が大好きだという児童生徒の割合(中学生)」など16項目中7項目でした。一方で、重点施策2の「ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある児童生徒の割合(中学生)」や「難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していると思う児童生徒の割合(小学生)(中学生)」は、実績値が減少しました。

子どもたちがこれからの時代に求められる資質・能力を身に付けるために、子どもを主体とした授業改善の取組や家庭・学校・地域が一体となって進める「地域ぐるみの教育」の推進が重要です。

<状態指標の状況一覧(実績値下線:めざす方向に進展した項目)>

	状態指標	めざす方向	計画当初	実績値
重点 施策 1	学校生活に満足している児童生徒、保護者の割合 ① 小学生 ②中学生 ③保護者	↑	①82.3% ②75.3% ③72.8% (2016)	①83.7% ②75.6% ③68.9% (2020)
	自分には、よいところがあると思う児童生徒の割合 ① 小学生 ②中学生	↑	①77.8% ②66.3% (2017)	①80.0% ②75.7% (2021)

	状態指標	めざす方向	計画当初	実績値
重点 施策 2	ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある児童生徒の割合 ①小学生 ②中学生	↑	①68.1% ②73.7% (2017)	①70.5% ②59.1% (2021)
	難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していると思う児童生徒の割合 ①小学生 ②中学生	↑	①72.9% ②65.6% (2017)	①69.6% ②60.0% (2021)
重点 施策 3	豊田市や住んでいる地域に愛着を感じている市民の割合	↑	76.7% (2016)	76.4% (2021)
	自分の住む地域が大好きだという児童生徒の割合 ①小学生 ②中学生	↑	①55.4% ②27.4% (2017)	①55.4% ②29.3% (2021)
重点 施策 4	地域ぐるみで子どもの教育ができていると思う市民の割合	↑	29.2% (2016)	29.1% (2020)
	1年以内に、小・中学校の活動又は児童生徒とともに 地域の活動に参加した市民の割合	↑	28.6% (2016)	15.0% (2021)
	地域の行事や活動に参加している児童生徒の割合 ①小学生 ②中学生	↑	①82.1% ②69.7% (2016)	①80.0% ②70.3% (2020)

3 重点事業における成果指標の達成度

成果指標における達成度は、重点事業全 15 事業のうち、1 事業が「◎大変良い」、13 事業が「○良い」となっています。「△改善を要する」事業は、「学び続ける教員の育成推進事業」で、成果指標の達成度が低く、実施内容の見直しが求められます。今後は働き方改革を考慮しつつ、令和 4 年 4 月改正の「豊田市教員人材育成プラン」に基づき、学校現場のOJTをより活性化させ、集合研修やオンライン研修の効果を見極め、満足度の高い研修を実施していきます。

	事業数	◎ 大変良い	○ 良い	△ 改善を要する
重点事業	15 (100%)	1 (7%)	13 (86%)	1 (7%)

4 第4次豊田市教育行政計画の推進に向けて

第4次計画では、第3次計画の基本理念、めざす人物像を継承しながら、新たなめざすべき教育の姿を掲げ、重点施策につなげています。特に、重点施策の「自らの可能性を広げる力の育成」と「誰もが安心して自分らしく学べる場の確保」は、学校教育に関わる部分について、取組を充実しています。

社会が大きな転換点を迎える中、子どもたちが、自ら課題を見つけ、学び、考え、判断して行動し、より良い社会や豊かな人生を切り拓いていく力を身に付けられるよう、これまでの評価結果を踏まえ、第4次計画の各種事業を展開する中で、ハード・ソフト両面での環境整備・改善を進めていきます